

# YMC A学院高等学校学則

## 第1章 総 則

### (目的)

第1条 本校は、教育基本法及び学校教育法に従い、キリスト教青年会の精神に基づき、中学校における教育の基礎の上に、高等学校教育を行うことを目的とする。

### (名称)

第2条 本校はYMC A学院高等学校という。

### (位置)

第3条 本校の位置は大阪府大阪市天王寺区生玉寺町1番3号に置く。

### (協力校)

第4条 下記の高等学校を協力校とする

日ノ本学園高等学校  
開新高等学校  
千葉英和高等学校  
西南学院高等学校  
関東学院高等学校  
明治学院高等学校

## 第2章 課程の組織、収容定員及び区域

### (課程・学科・収容定員)

第5条 本校の課程、学科及び収容定員は、次のとおりとする。

通信制課程(単位制)	総合学科	
本校定員		1160名
協力校定員	日ノ本学園高等学校	40名
	開新高等学校	150名
	千葉英和高等学校	50名
	西南学院高等学校	100名
	関東学院高等学校	100名
	明治学院高等学校	150名
	合計	1750名

### (区域)

第6条 本校は下記の区域内に住所を有する者を生徒とする。

大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、三重県、岡山県、福岡県、熊本県  
千葉県、東京都、茨城県、埼玉県、神奈川県

## 第3章 修業年限、入学・卒業の時期、学期及び休業日等

### (修業年限)

第7条 本校の修業年限は、次のとおりとする。

3年以上

(入学・卒業の時期)

第8条 本校は学期の区分ごとに入学又は卒業を認定する。

(学期)

第9条 本校の学期は次の2学期とする

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から3月31日まで

(休業日、臨時授業及び臨時休業日)

第10条 本校の休業日は、次のとおりとする。

(1) YMC A創立者記念日 10月11日

(2) 夏季休業日 8月1日から8月31日まで

(3) 冬季休業日 12月23日から1月7日まで

(4) 年度末休業日 3月25日から4月7日まで

2 教育上必要があり、かつ、やむを得ない事情があるときは、前項にかかわらず、休業日に授業を行うことができる。

3 非常変災その他やむを得ない事情があるときは、臨時に授業を行わないことがある。

#### 第4章 入学・退学・転学及び休学等

(入学資格)

第11条 本校に入学することができる者は、次の各号に掲げる者とする。

(1) 中学校を卒業した者

(2) 前号に準ずる学校を卒業した者

(3) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者

(4) 文部科学大臣の指定した者

(5) 本校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(転入学及び編入学資格)

第12条 本校に転入学することができる者は、前条に規定する資格を有し、かつ、校長が別に定めた要件を満たしていると認められる者とする。

2 本校に編入学することができる者は、相当年齢に達し、本校に在学する者と同等以上の学力があると認められる者とする。

(入学許可)

第13条 入学を希望する者には、選考を行い入学を許可する。

(出願手続)

第14条 入学を希望する者は、本校所定の入学願書その他の書類に入学検定料をそえ、願い出なければならない。

(入学手続)

第15条 入学の許可を受けた者は、すみやかに所定の書類に入学金をそえ、提出しなければならない。

2 前項に定める手続が所定の期日までに行われなときは、入学の許可を取り消すことがある。

(転学)

第16条 生徒が転学しようとするときは、所定の書類にその事由を明らかにし、承認を得なければならない。

(退学)

第 17 条 生徒が退学しようとするときは、所定の書類にその事由を明らかにし、必要書類をそえ、許可を得なければならない。

(再入学)

第 18 条 第 15 条及び前条の規定により、転学又は退学した者が再入学を願い出たときは、その事由により許可することがある。

(休学)

第 19 条 生徒が病気その他やむを得ない事由のため、3 ヶ月以上出席することができないときは、所定の書類にその事由を明らかにし、必要書類をそえ、許可を得なければならない。

(復学)

第 20 条 前条の規定により休学中の生徒が復学しようとするときは、所定の書類にその事由を明らかにし、必要書類をそえ、許可を受けなければならない。

(科目履修)

第 21 条 本校の教育課程のうち、特定の教科、科目だけを履修しようとする者は、所定の書類に費用を添えて提出しなければならない。

(生徒の区分)

第 22 条 他の高等学校の修了期間を通算して、在学期間 1 年以内の者を 1 年次生、2 年以内の者を 2 年次生、2 年を超える者を 3 年次生とする。

## 第 5 章 教育課程、単位修得及び卒業

(教育課程)

第 23 条 本校の教育課程は、別表 1 に定めるとおりとする。

(添削指導)

第 24 条 高等学校学習指導要領の通信制課程に関する定めにより、添削指導を行う。各教科・科目の添削指導回数は別表 1 に定めるとおりとする。

(面接指導)

第 25 条 高等学校学習指導要領の通信制課程に関する定めにより、面接指導を行う。各教科・科目の面接指導回数は別表 1 に定めるとおりとする。

(単位修得)

第 26 条 本校の単位の修得については、下記の要件を満たしたと認められるときに、各学期末において認定する。

(1) 添削指導及び試験の成績が合格基準点に達していること

(2) 所定時間の面接指導を受けていること

(見なし履修)

第 27 条 次の各号に該当するときは、高等学校学習指導要領の規定に基づき、面接時間数の免除や、当該履修時間を免除し当該科目の単位履修を認定することができる。

(1) 職業に関する各教科・科目を履修する生徒が、現にその各教科・科目と密接な関係を有する職業（家事を含む）に従事している場合において、その職業における実務等があらかじめ学校が立てた指導計画に照らしてその各教科・科目の実習として適切なものと認められるときは、その生徒についてその各教科・科目の面接指導の時間数の 10 分の 3 以内の時間数を免除することができる。

(2) 高等学校卒業程度認定試験において合格点を得た場合、それに相当する教科・科目の単位を修得したものとみなすことができる。

(3) 学校が、指導計画に、各教科・科目又は特別活動について計画的かつ継続的に行われるラジオ放送、テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習を取り入れた場合で、生徒がこれらの方法により学習し、その成果が満足できると認められるときは、その生徒について、その各教科・科目の面接指導の時間数又は特別活動の時間数のうち、各メディアごとにそれぞれ 10 分の 6 以内の時間数を免除することができる。ただし、免除する時間数は、合わせて 10 分の 8 をこえることができない。

(卒業)

第 28 条 本校において、下記の要件を満たしたと認められるときは卒業を認定し、卒業証書を授与する。

(1) 別表 1 に定める本校教育課程により、必履修科目をすべて履修し、74 単位以上を修得していること。

(2) 特別活動に 30 時間以上出席していること。

(3) 本校と他の高等学校の在学期間を通算して、高等学校在学期間が 3 年以上であること。

(4) 本校での修得科目、単位がそれぞれ 2 科目 4 単位以上であること。

## 第 6 章 教職員

(教職員)

第 29 条 本校に次の教職員を置く

- (1) 校長 1 名
- (2) 教頭 1 名
- (3) 教諭 8 名以上
- (4) 講師 18 名以上
- (5) 事務長 1 名
- (6) 事務職員 8 名以上
- (7) 学校医 2 名以上

2 校長は、校務を総括し、所属教職員を監督する。

3 教頭は、校長を補佐し、校務を整理する。

4 前第 2 項及び第 3 項以外の教職員は、それぞれ校務を分掌する。

## 第 7 章 授業料、入学金、施設設備費及び入学検定料

(授業料、入学金、施設設備費、入学検定料及び科目履修登録費)

第 30 条 本校の授業料、入学金、施設設備費、入学検定料及び科目履修登録費は、別表 2 のとおりとする。

(納入及び納入の特例)

第 31 条 生徒がその在籍中は、出席の有無にかかわらず、授業料を所定の期日までに納入しなければならない。

2 生徒が休学したときは、前項の規定にかかわらず、その始期に属する月から授業料を免除することがある。また、特別な事由のある場合に別に定めるところにより、授業料の全部又は一部を免除する

ことがある。

(滞納)

第 32 条 正当な理由がなく、かつ、所定の手続を行わずに授業料を 3 ヶ月以上滞納しその後においても納入の見込がないときは退学を命ずることがある。

(納入金の不還付)

第 33 条 すでに納入した授業料，入学金，施設設備費，入学検定料及び科目履修登録費は，原則として返還しない。

## 第 8 章 技能連携

(技能連携)

第 34 条 学校教育法第 55 条の規定による指定技能教育施設に在学する者が，連携措置に係る科目の単位修得の認定を受けようとするときは，技能教育施設の指定等に関する規則第 6 条の定めにより，予め当該技能教育施設の設置者と協議して連携措置計画書を作成しなければならない。

## 第 9 章 賞 罰

(褒賞)

第 35 条 生徒がその成績，性行とも優れ，他の模範となるときは，褒賞することがある。

(懲戒)

第 36 条 生徒がこの学則，その他本校の定める諸規則を守らず，その本分にもとる行為があったときは懲戒処分を行う。

2 懲戒は，訓告，謹慎，停学及び退学とする。

3 前項の退学は，次の各号の 1 に該当する生徒に対してのみ行うものとする。

(1) 性行不良で，改善の見込みがないと認められるもの

(2) 学力劣等で，成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて，出席常でない者

(4) 学校の秩序を乱し，その他生徒としての本分に反した者

## 第 10 章 補 足

第 37 条 この学則に関し必要な事項は校長が定める。

### 附則

1 この学則は 2002（平成 14）年 4 月 1 日より施行する。

2 この学則は 2003（平成 15）年 4 月 1 日より施行する。

3 この学則は 2004（平成 16）年 4 月 1 日より施行する。

4 この学則は 2005（平成 17）年 4 月 1 日より施行する。

5 この学則は 2005（平成 17）年 10 月 1 日より施行する。

6 この学則は 2006（平成 18）年 4 月 1 日より施行する。

7 この学則は 2007（平成 19）年 4 月 1 日より施行する。

8 この学則は 2011（平成 23）年 4 月 1 日より施行する。

9 この学則は 2012（平成 24）年 4 月 1 日より施行する。

- 10 この学則は 2013（平成 25）年 4 月 1 日より施行する。
- 11 この学則は 2014（平成 26）年 4 月 1 日より施行する。
- 12 この学則は 2015（平成 27）年 4 月 1 日より施行する。
- 13 この学則は 2016（平成 28）年 4 月 1 日より施行する。
- 14 この学則は 2017（平成 29）年 4 月 1 日より施行する。

## 別表 1 (教育課程表)

- \* 卒業までに高等学校必修科目と選択科目で 74 単位以上を修得することが必要である。
- \* 総合選択科目は、1つの系列群から選択することが望ましいが、必要に応じて他の系列群の中から選択してもよい。
- \* 教育課程表の各科目の年次の配置にかかわらず、履修の年次の指定のある科目を除いてどの年次で履修してもよい。
- \* 「産業社会と人間」は入学年次に履修、「課題研究」は卒業予定年次で履修する。
- \* 科目名にⅠやⅡがつくものは、Ⅰを履修後にⅡを履修する。
- \* 「総合的な学習の時間」は卒業までに 3 単位履修する必要がある。この単位は卒業までに修得する必要のある 7 4 単位に加えることができる。
- \* 「学校外における学修の単位認定」で認められる学修は「校外講座」「技能審査」「ボランティア活動」「スポーツ・文化活動」の 4 つの活動とし、認められる単位の合計は 2 0 単位までとする。
- \* 「学校外における学修の単位認定」の教育課程上の位置付けは、学修する内容に対応する教科・科目の増加単位として認定する。なお、必履修教科・科目は学校外における学修をもってこれに代えることはできない。
- \* 特別活動は卒業までに 3 0 時間以上参加すること。

1. 普通科目：平成25年度以降入学生徒対応カリキュラム

教科	科目	単位数	1年次	2年次	3年次	備考
国語	国語総合	4	4			※「国語総合」は必履修
	国語表現	4		4		
	現代文B	4		4		
	古典A	2			2	
	古典B	4		2	2	
	古文入門(学校設定)	2		2		
	国語演習(学校設定)	8		2	6	
地理歴史	世界史A	2		2		※地理歴史の履修については、「世界史A」及び「世界史B」から1科目、「日本史A」、「日本史B」及び「地理A」から1科目、計2科目必履修
	世界史B	4		4		
	日本史A	2			2	
	日本史B	4			4	
	地理A	2			2	
	地歴演習(学校設定)	4		2	2	
公民	現代社会	2	2			※公民は「現代社会」または「倫理」・「政治・経済」のどちらか必履修
	倫理	2		2		
	政治・経済	2			2	
	公民演習(学校設定)	4		2	2	
数学	数学Ⅰ	4	4			※「数学Ⅰ」は必履修 ※技能審査で「数学演習」の増加単位として最大4単位まで認定
	数学Ⅱ	5		5		
	数学A	4		4		
	数学B	2			2	
	数学演習(学校設定)	6		3	3	
理科	科学と人間生活	2	2			※理科のうち「科学と人間生活」「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」及び「地学基礎」のうちから2科目(うち1科目は「科学と人間生活」とする)。又は「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」及び「地学基礎」のうちから3科目
	物理基礎	2		2		
	化学基礎	2			2	
	生物基礎	2		2		
	地学基礎	2		2		
	理科演習(学校設定)	4		2	2	
保健体育	体育	8	3	3	2	※「体育」7単位必履修
	保健	2		2		※「保健」必履修
芸術	音楽Ⅰ	2	2			※「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」及び「書道Ⅰ」から1科目必履修。ただし、「音楽Ⅰ」及び「音楽Ⅱ」は開新高等学校・明治学院高等学校(協力校)で開講
	音楽Ⅱ	2		2		
	美術Ⅰ	2	2			
	美術Ⅱ	2		2		
	書道Ⅰ	2	2			
	書道Ⅱ	2		2		
	実用書道(学校設定)	4		2	2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4	4			※「コミュニケーション英語Ⅰ」、「韓国・朝鮮語入門」及び「中国語入門」から1科目必履修。「コミュニケーション英語Ⅰ」は3単位必履修
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4		
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			4	
	英語表現Ⅰ	4		4		
	英語表現Ⅱ	4			4	
	英語会話	2	2			
	韓国・朝鮮語入門(学校設定)	3			3	
	中国語入門(学校設定)	3			3	
英語演習(学校設定)	8		2	6	※技能審査で「英語演習」の増加単位として最大4単位まで認定	
家庭	家庭基礎	2		2		※「家庭基礎」及び「家庭総合」から1科目必履修
	家庭総合	4		4		
	家庭実習(学校設定)	4		2	2	
情報	社会と情報	4	2	2		※「社会と情報」2単位必履修
宗教	宗教(学校設定)	3	1	1	1	※「宗教」1単位必履修
総合	産業社会と人間	4	2	2		※「産業社会と人間」2単位必履修
	課題研究	2			2	
必履修科目		単位数合計	20~24	13~21	4~11	計40~55
選択科目		単位数合計	1~5	4~12	13~20	計19~34
総合的な学習の時間			6	2	2	3単位必履修

2. 総合選択科目（専門科目）：平成25年度以降入学生徒対応カリキュラム

	系列	科目	単位数	1年次	2年次	3年次	備考
総合選択科目	福祉系列	社会福祉基礎	2	2			※「障がい者福祉実習」は開新高等学校（協力校）で開講
		*福祉実習基礎（学校設定）	2	2			
		子どもの発達と保育	2		2		
		*保育実習（学校設定）	2			2	
		福祉レクリエーション（学校設定）	2		2		
		高齢者福祉（学校設定）	2		2		
		*高齢者福祉実習（学校設定）	2		2		
		地域福祉（学校設定）	2			2	
		障がい者とともに（学校設定）	2			2	
		*障がい者福祉実習（学校設定）	2			2	
人間関係トレーニング（学校設定）	4	2	2				
総合選択科目	多文化共生系列	地球市民入門（学校設定）	4	2	2		
		地域の文化（学校設定）	4	2	2		
		*ワークショップで学ぶ人権（学校設定）	4		2	2	
		私のアイデンティティ（学校設定）	4		2	2	
		多文化共生考（学校設定）	4		2	2	
		*国際平和セミナー（学校設定）	4		2	2	
		ジェンダー入門（学校設定）	4		2	2	
		世界のドキュメンタリー（学校設定）	4		2	2	
総合選択科目	ウェルネス系列	レクリエーション（学校設定）	4	2	2		※「ニュースポーツ」は開新高等学校（協力校）で開講
		ニュースポーツ（学校設定）	4		2	2	
		スポーツⅠ	4		2	2	
		スポーツⅡ	4		2	2	
		*野外活動	4		2	2	
		からだづくり運動	4		2	2	
		*ウインタースポーツ（学校設定）	4		2	2	
		ウェルネス概論（学校設定）	4		2	2	
		ヨーガ（学校設定）	4		2	2	
		*救急法（学校設定）	2			2	
*海洋スポーツ（学校設定）	4		2	2			
総合選択科目	エコロジー系列	環境倫理学入門（学校設定）	2	2			※「環境倫理学入門」は神戸YMCA高等学院（技能連携校）で開講
		エコロジー概論（学校設定）	2	2			
		五感で自然を感じよう（学校設定）	4		2	2	
		森林の生態（学校設定）	2		2		
		*森林体験（学校設定）	4		2	2	
		地球にやさしい暮らし方（学校設定）	2			2	
		*農業体験（学校設定）	4		2	2	
		*海洋体験（学校設定）	2			2	
総合選択科目	情報処理系列	文書作成（学校設定）	2	2			※「ワードで作るホームページ」は千葉英和高等学校（協力校）で開講
		ワードで作るホームページ（学校設定）	2		2		
		表計算Ⅰ（学校設定）	2		2		
		表計算Ⅱ（学校設定）	2			2	
		コンピュータ概論（学校設定）	2			2	
		情報リテラシー（学校設定）	2		2		
		ホームページ作成（学校設定）	4		2	2	
		情報演習（学校設定）	4		2	2	

### 3. 自由選択科目

	科目	単位数	1年次～3年次			備考
	自由 選択 科目	ボランティアを考える(学校設定)	2	2		
映画で学ぶ世界史(学校設定)		2	2			※「映像で学ぶ日本史」「やさしい経済学」「メディアを読み解く」は神戸YMC A高等学院(技能連携校)で開講
*フィッシング(学校設定)		2	2			
*ホースライディング(学校設定)		2	2			
メディアを読み解く(学校設定)		2	2			
マンガで読む古文(学校設定)		2	2			
国旗をめぐる世界旅(学校設定)		2	2			
映像で学ぶ日本史(学校設定)		2	2			
やさしい経済学(学校設定)		2	2			
子ども文化		2	2			
服飾文化		2	2			
星空への招待(学校設定)		2	2			※「校外講座」「簿記・計算事務検定」「ボランティア実践」「スポーツ・文化活動」は「学校外における学修の単位認定」としてのみ単位認定
校外講座(学校設定)		5	5			
簿記・計算事務検定		5	5			
ボランティア実践(学校設定)		5	5			
スポーツ・文化活動(学校設定)		5	5			
コミュニケーション(学校設定)		4	4			※「進学国語」「進学数学」「進学英語」は、アドバンストクラスで開講
進学国語(学校設定)		4	4			
進学数学(学校設定)		4	4			
進学英語(学校設定)	4	4			※「ESL(English as a Second Language)」は、グローバルクラスで開講	
E S L(学校設定)	4	4				
ベーシック演習(学校設定)	8	8				

### 4. 技能連携校用専門科目：平成25年度以降入学生徒対応カリキュラム

	系列	科目	単位数	1年次	2年次	3年次	備考
	専門 科目	商業	ビジネス基礎	3	3		
課題研究			2			2	
ビジネス実務			3		3		
マーケティング			5	3	2		
広告と販売促進			2			2	
ビジネス経済			2		2		
経済活動と法			2			2	
簿記			3	3			
情報処理			4	2	2		
ビジネス情報			2			2	
電子商取引		2			2		
情報		情報産業と社会	2	2			
		情報の表現と管理	2		2		
	課題研究	2			2		

[平成25年度以降入学生徒対応]

	科目	単位数	添削指導		面接指導	
			1単位当たり 添削指導回数	添削指導 回数	1単位当たり 面接指導時間数	面接指導 時間数
国語	国語総合	4	3	12	1	4
	国語表現	4	3	12	1	4
	現代文B	4	3	12	1	4
	古典A	2	3	6	1	2
	古典B	4	3	12	1	4
	古文入門	2	3	6	1	2
	国語演習	2	3	6	1	2
地理歴史	世界史A	2	3	6	1	2
	世界史B	4	3	12	1	4
	日本史A	2	3	6	1	2
	日本史B	4	3	12	1	4
	地理A	2	3	6	1	2
	地歴演習	4	3	12	1	4
公民	現代社会	2	3	6	1	2
	倫理	2	3	6	1	2
	政治・経済	2	3	6	1	2
	公民演習	4	3	12	1	4
数学	数学Ⅰ	4	3	12	1	4
	数学Ⅱ	5	3	15	1.5	8
	数学A	4	3	12	1.5	6
	数学B	2	3	6	1.5	3
	数学演習	6	3	18	3	18
理科	科学と人間生活	2	3	6	4	8
	物理基礎	2	3	6	4	8
	化学基礎	2	3	6	4	8
	生物基礎	2	3	6	4	8
	地学基礎	2	3	6	4	8
理科演習	4	3	12	4	16	
保健体育	体育	8	1	8	5	40
	保健	2	3	6	1	2
芸術	音楽Ⅰ	2	3	6	4	8
	音楽Ⅱ	2	3	6	4	8
	美術Ⅰ	2	3	6	4	8
	美術Ⅱ	2	3	6	4	8
	書道Ⅰ	2	3	6	4	8
	書道Ⅱ	2	3	6	4	8
	実用書道	4	3	12	4	16
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4	3	12	4	16
	コミュニケーション英語Ⅱ	4	3	12	4	16
	コミュニケーション英語Ⅲ	4	3	12	4	16
	英語表現Ⅰ	4	3	12	4	16
	英語表現Ⅱ	4	3	12	4	16
	英語会話	2	3	6	4	8
	韓国・朝鮮語入門	3	3	9	4	12
	中国語入門	3	3	9	4	12
英語演習	8	3	24	4	32	
家庭	家庭基礎	2	3	6	3	6
	家庭総合	4	3	12	3	12
	家庭実習	4	3	12	3	12
情報	社会と情報	4	2	8	2	8
宗教	宗教	3	3	9	3	9
総合	産業社会と人間	4	1.5	6	1.5	6
	課題研究	2	1.5	3	2	4
総合的な学習の時間		6	2	12	4	24

[平成25年度以降入学生徒対応]

系列	科目	単位数	添削指導		面接指導	
			1単位当たり添削指導回数	添削指導回数	1単位当たり面接指導時間数	面接指導時間数
福祉系列	社会福祉基礎	2	2	4	3	6
	福祉実習基礎	2	2	4	4	8
	子どもの発達と保育	2	3	6	3	6
	保育実習	2	1.5	3	※	
	福祉レクリエーション	2	2	4	3	6
	高齢者福祉	2	2	4	3	6
	高齢者福祉実習	2	1.5	3	※	
	地域福祉	2	2	4	3	6
	障がい者とともに	2	2	4	3	6
	障がい者福祉実習	2	1.5	3	※	
人間関係トレーニング	4	2	8	3	12	
多文化共生系列	地球市民入門	4	2	8	3	12
	地域の文化	4	2	8	3	12
	ワークショップで学ぶ人権	4	2	8	4	16
	私のアイデンティティ	4	2	8	3	12
	多文化共生考	4	2	8	3	12
	国際平和セミナー	4	1.5	6	※	
	ジェンダー入門	4	2	8	4	16
	世界のドキュメンタリー	4	2	8	3	12
ウエルネス系列	レクリエーション	4	1	4	3	12
	ニュースポーツ	4	1	4	3	12
	スポーツⅠ	4	1	4	3	12
	スポーツⅡ	4	1	4	3	12
	野外活動	4	1	4	※	
	からだづくり運動	4	1	4	3	12
	ウインタースポーツ	4	1	4	3	12
	ウエルネス概論	4	1	4	3	12
	ヨーガ	4	1	4	3	12
	救急法	2	1	2	3	6
海洋スポーツ	4	1	4	※		
エコロジー系列	環境倫理学入門	2	2	4	2.5	5
	エコロジー概論	2	2	4	3	6
	五感で自然を感じよう	4	1.5	6	※	
	森林の生態	2	2	4	2.5	5
	森林体験	4	1.5	6	※	
	地球にやさしい暮らし方	2	2	4	3	6
	農業体験	4	1.5	6	※	
	海洋体験	2	1	2	※	
情報処理系列	文書作成	2	2.5	5	3	6
	ワードで作るホームページ	2	2.5	5	3	6
	表計算Ⅰ	2	2.5	5	3	6
	表計算Ⅱ	2	2.5	5	3	6
	コンピュータ概論	2	2.5	5	2.5	5
	情報リテラシー	2	2.5	5	3	6
	ホームページ作成	2	2.5	5	3	6
	情報演習	4	2	8	2	8

保育実習 4時間＋実習2日  
 高齢者福祉実習 4時間＋実習2日  
 障がい者福祉実習 4時間＋実習2日  
 国際平和セミナー 4時間＋実習2泊3日  
 野外活動 4時間＋実習4泊5日（2単位につき2時間＋実習2泊3日）  
 ウインタースポーツ 4時間＋実習4泊5日（2単位につき2時間＋実習2泊3日）  
 海洋スポーツ 4時間＋実習4泊5日（2単位につき2時間＋実習2泊3日）  
 五感で自然を感じよう 8時間＋実習2日（2単位につき4時間＋実習1日）  
 森林体験 8時間＋実習2日（2単位につき4時間＋実習1日）  
 農業体験 8時間＋実習2日（2単位につき4時間＋実習1日）  
 海洋体験 4時間＋実習4泊5日（2単位につき2時間＋実習2泊3日）

[平成25年度以降入学生徒対応]

	科目	単位数	添削指導		面接指導	
			1単位当たり 添削指導回数	添削指導 回数	1単位当たり 面接指導時間数	面接指導 時間数
自由選択科目	ボランティアを考える	2	2	4	3	6
	映画で学ぶ世界史	2	3	6	1	2
	フィッシング	2	1	2	※	
	ホースライディング	2	1	2	3	6
	メディアを読み解く	2	3	6	1	2
	マンガで読む古文	2	3	6	2.5	5
	国旗をめぐる世界旅	2	3	6	1	2
	映像で学ぶ日本史	2	3	6	1	2
	やさしい経済学	2	3	6	1	2
	子ども文化	2	3	6	3	6
	服飾文化	2	3	6	3	6
	星空への招待	2	3	6	2.5	5
	コミュニケーション	4	2	8	3	12
	進学国語	4	3	12	4	16
	進学数学	4	3	12	4	16
	進学英語	4	3	12	4	16
	E S L (English as a Second Language)	4	3	12	4	16
	ベーシック演習	8	3	24	4	32

フィッシング

2時間+実習1日

別表 2

(1) 正規に本校に入学する者

	(円)	備考
授業料	9,000	1単位
入学金	50,000	
施設設備費	40,000	年額
入学検定料	10,000	

(2) 指定技能教育施設において本校に入学するもの

	(円)	備考
授業料	5,500	1単位
入学金	50,000	
施設設備費	20,000	年額
入学検定料	10,000	

(3) 本校で科目履修を行う者

	(円)	備考
授業料	10,000	1単位
科目履修生登録費	50,000	入学時

(4) 本校における諸経費

	(円)	備考
再テスト料	1,000	1講座
学校外における学修単位認定料	2,000	1単位
学習アシストルーム登録料	10,000	半期
マイスペース・ベーシック登録料	70,000	半期
マイスペース・サポート登録料	130,000	半期
Yラーニング登録料	5,400	登録時
アドバンストクラス登録料	110,000	半期
グローバルクラス登録料	100,000	半期
ウエルネスクラス登録料	140,000	半期
マイスペ+ (プラス) クラス登録料	120,000	半期
Yチャレンジ登録料	190,000	半期

以上